

2026年4月13日

2026年3月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判・巻取ともに目立ったスポット案件が少なく、昨年同月比で同水準となった。在庫については価格修正を見据えた仮需の影響が3月度も昨年対比を上回った。

（前年比 平判 105.0%・巻取 96.9%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期案件に終始し昨年と同等となった。

巻取は目立ったスポット案件がなく、前年を大幅に下回り、再生紙全体で昨年を下回る形となった。

（前年比 平判 96.4%・巻取 56.5% 再生上質計 74.9%）

再生巻取が昨年比で大きく落としたものの、印刷用紙 A 全体では昨年を若干上回る結果となった。また印刷用紙 A 全体の在庫量が2期連続で増えている。

（印刷用紙 A 全体前年比 103.6%）

<A2 コート>

平判は、ドラッグストア、コンビニ、宅配、不動産等で一部動きがあったが、生損保、学習塾関連の落ち込みや出版関連の減少もあり全体的に動きが鈍く、グロス、マット共に前年を少し下回った。

巻取は、家電量販店、ホームセンター等定期チラシ関連で一部において動きがあったが、雑誌、カタログ関連は落ち込んでいる。昨年大きく落ち込んだ反動でグロス、マット共に前年を少し上回ったが、回復には程遠い。

（前年比 平判 99.5% 巻取 103.8% 全体 100.3%）

<A3 コート>

デリバリー、ディスカウントストア等の定期的なチラシ案件の動きは見られたが、カタログ、雑誌等の動きが非常に悪く、前年を大幅に下回った。

自動車マニュアルの項数減や企業・団体などの定期刊行物の WEB 化など、紙離れが助長された一年となった。

（前年比 平判 92.3% 巻取 69.9% 全体 76.3%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融・生損保の手書き用申請書の動きは見られたが、大口スポットは見られず前年を下回った。

巻取は年度末の在庫調整があり生保系帳票の動きも鈍く、前年を大幅に下回った。

(前年比 平判 95.2% 巻取 65.2%)

<上質フォーム>

税金関係の納付書の動きは例年通りあり、価格修正前の前倒し需要も一部見られ、前年並みに推移した。

(前年比 100.7%)

<包装用紙>

役所向け、金融保険向け封筒等の年度末需要が堅調に動き全般的に昨年を上回った。

純白ロールはお彼岸の生花向けや贈答用の菓子包装紙等の動きが堅調で、昨年並みの数字となった。

包装用紙全体でも 106.1%と昨年を上回った。

(前年比 106.1%)

<板紙>

コートボールは、物価高の影響で日用品や食品関係の低調が続いているものの、一部季節需要が見られ、前年を上回った。

特板においては、化粧品関連は前年並みだが、POP 什器関連に動きが見られ、前年を上回った。

高板は依然としてトレーディングカード需要が旺盛であり、前年を上回った。

チップボールにおいては、出版用途の低調が続き、前年よりマイナス。

全体としては物価高を背景に、定期品目は低調であるが、コートボールと特板で見られたスポット需要が数量を押し上げ、前年を上回る結果となった。

(前年同月比 107.2%)